

ふっさ

◇ 昭和56年1月20日発行

◇ 福生市議会事務局

◇ 電話 0425-51-1511 (代)

新しい年、希望に向かって

一歩、また一歩前進

(出初式にて 福生消防少年団)



新春を迎えて



議長

小林 菊三



副議長

村尾 栄次

輝かしい昭和五十六年の新春を迎え、ご一家皆さま方のご健勝を心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を顧みますと世界経済の最悪の時でもあり、イラン・イラク戦争の長期化による石油価格の継続的な上昇が予想されるなど、また、国内におきましても政治史に残る衆参ダブル選挙のほか、電気料金の値上げに始まる諸物価の高騰等、政治経済両面に混乱を続けた一年であったように思われます。

このような状況の中で、福生市は中央図書館をはじめとする公共施設の整備に全力を傾け、おかげをもちましてそれなりの成果をあげることができました。

これもひとえに、市民の皆さま方のご支援、ご協力のたまものと感謝申し上げます。

本年も財政再建のための増収策として郵便料金及び国鉄運賃等公共料金の値上げが予想され、市民の皆さまには試練の年と懸念されますが、市議会といたしましては、職責を十分認識し、微力を尽くしてまいりたいと存じます。

年頭にあたり、市政並びに市議会に対し、なお一層のご援助をお願い申し上げます。

議員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|----|
| 塩 | 関 | 小 | 末 | 指 | 宮 | 東 | 田 | 貫 | 鈴 | 村 | 松 | 原 | 遠 | 小 | 山 | 森 | 東 | 高 | 加 | 仲 | 石 |
| 野 | | 堺 | 次 | 田 | 沢 | 田 | 村 | 井 | 木 | 野 | 山 | | 藤 | 野 | 崎 | 田 | 浦 | 水 | 藤 | 村 | 川 |
| 鉄 | 米 | 仁 | 性 | 保 | 良 | 正 | 市 | 喜 | 藤 | 武 | 敏 | 洋 | 一 | 久 | 繁 | 治 | 春 | 惣 | 謹 | 清 | 慶 |
| 之助 | 吉 | 七 | 男 | 雄 | 一 | 治 | 郎 | 次 | 郎 | 男 | 清 | 子 | 一 | 久 | 三郎 | 男 | 浪 | 八 | 助 | 信 | 一郎 |

12月

- | | |
|-------------|---------------------|
| 9日 | 本会議
総務委員会
協議会 |
| 10日 | 本会議 |
| 11日 | 一般会計決算審査特別委員会 |
| 15日 | 厚生委員会 |
| 審議日程 | |
| 16日 | 建設委員会 |
| 17日 | 総務委員会 |
| 18日 | 横田基地対策特別委員会 |
| 19日 | 議会運営委員会 |
| 23日 | 本会議 |

第四回定例会

1日目

昭和五十五年最後の定例会である第四回定例会が十二月九日に招集され、五十四年度の決算などが提案されました。
会期を九日から二十三日までの十五日間と決め、議案審議に先立ち、申し出のあった七人の議員が市政全般について、一般質問を行い、市長の考えを聞きました。

2日目

一般質問の残りが行われた後、各会計決算などの議案の審議に入り、一般会計決算については、特別委員会を設置して審査することとしました。その他の議案は、それぞれ担当の委員会に付託しました。

3日目

休会中に各委員会で審査された結果が委員長より報告され、本会議でもすべて原案のとおり可決されました。また各会計決算についても、すべて原案のとおり認定されました。
さらに、「鉄道の連続立体交差化に伴う地元費用負担解消に関する意見書」や新しい選挙管理委員会委員も決まりました。

大役果たした 54年度予算

★一般会計決算 93億2,658万円を認定

単年度では54年度も黒字

昭和五十四年度一般会計決算が、この定例会

に市長から提案されました。議会では、五十

四年度の収支が適正であったかを審査するた

め、正副議長と議会選出の監査委員である議

員を除く二十一人の議員による、昭和五十四

年度一般会計決算審査特別委員会（森田治男

委員長、小野沢久副委員長）を設置し、十二

月十一日に審査を行いました。そして、二十

三日の最終日に討論を行った後、起立によっ

て採決した結果、賛成多数で昭和五十四年度

一般会計決算を認定しました。

特別委員会 のやりとりから

徴収率は

都下で七番目

問 市税における不納欠損額は、五十二年の倍近い額になっているのはなぜか。

答 不納欠損は、二百五十九件、約百八十一万円である。これらについては、最大限の努力をしたが、時効による消滅、滞納者の財産処分がないなどで不納欠損となった。その割合は、二十六市平均が、〇・〇九％。福生は〇・〇六％で、二十六市

中でも七番目の徴収率である。

問 固定資産税において、C農地には農地課税をし、A・B農地には宅地並み課税をしても減額措置をしている。C農地についてはどのように考えているのか。

答 市内にA・B農地は、約四十五万七千平方メートル、C農地が約十四万九千平方メートルある。その税額は、平均してC農地が一平方メートル当たり一円。A農地が二百六円、B農地が百三十七円である。税の公平性から見た場合、一考を要するものがある。

問 普通財産収入、不用品物売却収入、不用品物売却代金について聞きたい。

× ○ × トワロン 討論 トワロン × ○ ×

本会議最終日に昭和54年度一般会計決算について

——次のような討論が行われました

バランス欠いた

財政運営



<反対>

昭和五十四年度一般会計は、予算編成時より、不況インフレから市民生活を守ることを基本に置いていなかった。市民生活を守る施策はほとんど前進しなかった。しかるに最終的には、五億円に上る多額の財源を基金に積み立てるなどという財政運営は容認できない。

また都財政再建のために補助金削減が打ち出されても、それをねかえすべく積極的な行動を取ることなく経過してきた。

都市施設の充実面からは、一定の前進はあったが、市民生活を守る面に積極的な力を入れていくことを強く要求する。

実りあった

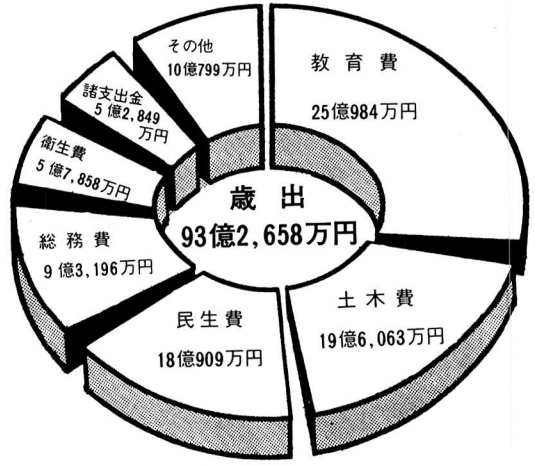
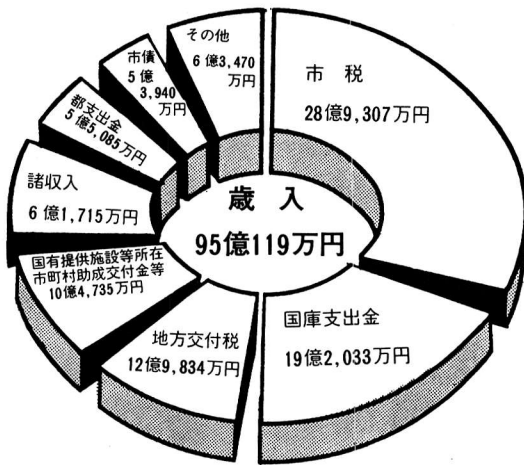
予算執行



<賛成>

昭和五十四年度における経済状況、あるいは国や都の財政再建問題は、当局にとっても非常に厳しいものがあつたにもかかわらず、中央図書館をはじめ市営住宅の建てかえ、緑地整備等の諸事業を執行し、九八・四％という高い予算執行率を示した。貧弱な財政力や諸情勢を勘案すれば、まことに時宜を得ている。生活基盤も急速に整備されつつあり、今後はいかなる諸施設を有効、適切に運用していかなければならない時期であり、これらに要する経費の財源確保には、一層の努力を願いたい。

昭和54年度一般会計歳入歳出決算表



問 市制十周年記念事業の一つとして、約百二十万円をかけて、市の歌が作られたが、普及ぐあいはどうか。

答 広く市民の方に歌ってもらうことをねらって作り、町会等にレコードを渡し、普及に努めている。裏面が行進曲になっているので運動会にも利用でき

問 補助金のあり方について考え方を聞きたい。

答 補助金等調査専門委員の答申を受け行っているが、補助金には、義務的性格のものと任意の性格のものがあると思う。また、考え方をもう一つ変えた場合、受益者負担という考え方もあるので、これらの問題をよく研究したい。

検討の余地ある 各種補助金

答 財産売却収入は、第八小学校の代替用地として三百三十九・三二平方メートルを売却したものである。不用物品売却収入は、ごみの旧処分地にあった破砕機や作業員詰所のプレハブの処分収入である。

また、不用物品等売却代金は庁舎内で行っている新聞やくずものを売り払った代金である。

問 地方自治体が、事業の補助金で、利息かせぎをしているという指摘が会計検査院からされたが、当市はどうか。

答 事業補助金は、建設事業が主であり、竣工の結果によって、補助金が入るので、三日ぐらいで支払っており、当市においては、利息かせぎというようなことはない。



る。市のお知らせ等を通じ、PRに努めている。

問 生活資金貸付制度は十分に機能を発揮しているのか。

答 償還金の関係もあって、保証人が必要であったり、条件等が満たされていないければ、貸し付けていない。だれが行ってもすぐにとりわけではなく、面接をし、状況等を聞いて、条件にあった方に貸し付けている。また資金の増額よりも、償還に努めて、資金の回転を早めていきたい。

また、財政構造の弾力性についても、それを表わす経常収支比率は、前年度と同率の七五・九％で、二十六市中三番目に低いところがあり、経常一般財源に余裕があり、財政構造に弾力性があることを示している。

八〇年代は、地方の時代といわれ、地域の特性を生かした主

財政力指数は、〇・六六と低く都下二十六市中二十三番目で市民一人当たりの市民税の負担額も二十五番目の二万九千二十一円である。しかし市民一人当たりの基準財政需要額は、十七万七千七百七円と都下二十六市中五番目とかなり高い行政水準を維持し、市民サービスと福祉の増進に寄与している。

五十四年度の決算額を前年度と比較すると歳入は八億六千二百三十万円（一〇・八％）増加し、歳出も八億六千八百四十九万円（一一・二％）増加している。五十四年度だけを見ると収支は二千二百八十二万円の黒字である。

事務事業の見直しと
機構の簡素
合理化を提言
Ⅱ 監査意見Ⅱ

市 税
59,465円

さて、それでは市民1人当りの歳入と歳出はどのようになっているのでしょうか

教育費
51,588円

国庫支出金
39,471円

土木費
40,299円

地方交付税
26,686円

民生費
37,184円

諸収入

21,527円

国有提供施設等所在
市町村助成交付金等

12,685円

都支出金

11,322円

市債11,087円

その他
13,045円

歳入

195,288円

歳出

191,701円

衛生費

総務費
19,156円

11,892円

10,863円

その他
20,719円

諸支出金

問 ごみ減量モデル地区推進の成果はどうか。

答 五十四年度は十六団体が、今年度は二十三団体がごみ減量を実施している。西多摩衛生組合への収集持ち込み量においても、昨年度は二・八％の増加であったが、今年度は六％減少してきている。

問 西口再開発計画の構想は、いくつかの案が示されたが、地元との話し合いはどのようになっているのか。

答 十一月に地元説明会を三回行い、現在も福生商店街協同組合事務所において、月曜日と木曜日の二日、相談日を設け、地元の方に説明し、計画案をもとに地元と協議している。

飛び来る火の粉は 防がにやならぬ
— 消防委託費 —

問 都に委託している常備消防費の負担率はどのくらいか。

答 五十二年まででは、五〇％の負担率であったが、五十三年度は七三％、五十四年度は七五％で、五十五年度は八〇％になった。これ以上、負担率が伸びないよう関係市町村とともに負担軽減の運動をしている。

問 公園等の管理方法を聞きたい。

答 公園、児童遊園は、三十一箇所、十七万七千九百八十二平方メートルで、一人当たり三・六五平方メートルあり、二十六市中、ベスト五に入っている。維持管理は、業者委託によるものと職員によるもの二通りで行っている。柳山公園などの大きな公園等の樹木のせんどの草取りは業者に委託し、ごみの収集、周辺の清掃や遊具の補修などは職員が定期的に見回りをし、管理している。

便所については、週一回、業者に委託して清掃している。

問 社会教育関係団体補助金は、どのような団体に出しているのか。

答 教育委員会から社会教育委員に諮問して決定している。現在、ボーイスカウト福生第一団、青年団体連絡協議会、文化連盟、体育協会とPTA連合会に補助金が出されている。

問 夏期休業中水泳指導員報酬金三百一十万円の内訳を聞きたい。

答 夏休み中の学校のプール指導は、学生と教職員が行っている。学生は日額三千六百円で、延べ四百四十九人、百六十四万六千四百円。教職員は日額三千五百円で、延べ四百十九人、百四十六万六千五百円である。

体性のある地域づくりが要請されてきており、地方行政の対応のあり方を基本的に見直し、新しい時代に適応した体制の整備を図る必要があると同時に、国と地方公共団体間の財政秩序の確立についても意を注がねばならない。

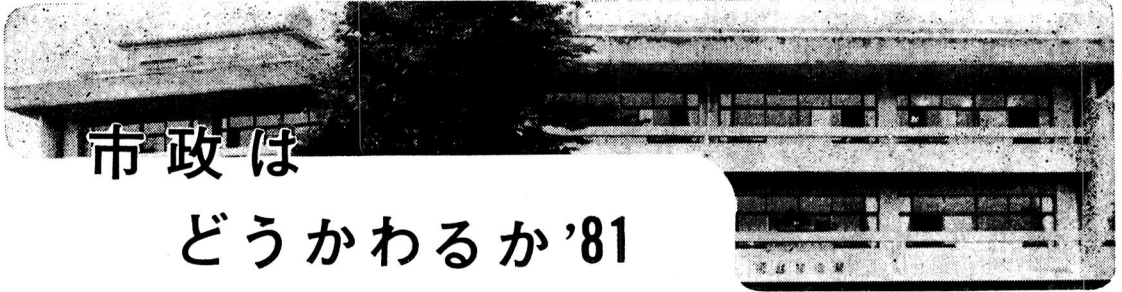
地方公共団体は地域住民の負担に比べ、効率的な行政の運営を図っていく義務があり、積極的な事務の見直し、あるいは機構の簡素合理化を図り、行政経費の節減におお一層の努力と創意工夫をこらし、その実を上げることが期待する。

ひとくちメモ

☆財政力指数Ⅱ 地方公共団体の富裕度を示す指標で、この値が一を超える団体を富裕団体と呼んでいる。

☆基準財政需要額Ⅱ 合理的かつ妥当な水準の行政を行い、または施設を維持するための必要不可欠な最低限度の経費。

☆經常収支比率Ⅱ 固定的かつ義務の性格の強い人件費、物件費維持修繕費など經常的経費のために、使途が特定されず、しかも毎年度經常的に歳入される經常的一般財源がどれだけ充用されたかを示すもので、八〇％を著しく超えると財政が硬直化していると考えられる。



市政は

どうかわかるか'81



「さあ、こい」子供達の声もはずむ

ご指摘のように市内の工場等を集約できればよいが、法に制約されることが

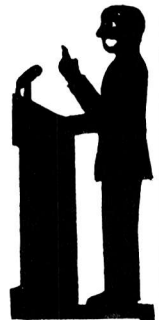
助役 公有地の拡大の推進に関する法律によって先買した土地であるので、その趣旨にそって、今後の利用を考えていきたい。

市では、どのように利用しているかと考えているのか。

質問 アサノポール跡地は、市内に散在する中小の工場を集めて移転させるのが最善と思うが、買収にあたってのいきさつを考えると問題も多いと思う。

アサノポール跡地利用

法律で制約される



一般質問

第四回定例会では
七人の議員が一般
質問を行いました

多く、今のところ広場的なものでよいのではないかと思っっている。今後、議会側とも相談しながら処理していきたいと考えている。

児童遊園の借地

買収の方向で努力

質問 公園は児童の遊び場というだけでなく、防災の立場からも用地の確保は必要である。

市内のある児童遊園地は地主から返還を求められ付近の人達が大変困っていると聞いています。これまでの経緯と土地確保について考えを聞きたい。

市長 公園は、重要な都市施設の一つであり、市民生活上欠かせないものと考えています。

ご指摘の児童遊園地については、地主の方から返還してほしい旨の連絡を受け、再三折衝を重ね、お願いしてきたが、残念な結果となってしまった。市内にある児童遊園地の多く

第4回 定例会を 傍聴された方々

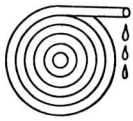
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ○市川 芳忠 | ○中村はつ | ○内田 一男 | ○今井 洲子 |
| ○山崎良之助 | ○市川カツ子 | ○米山のり子 | ○工藤 定次 |
| ○山田 好文 | ○近藤 豊 | ○上岡 永志 | ○竹田のり子 |
| ○川島 静雄 | ○島田 英喜 | ○木村 伸夫 | ○大館 順 |
| ○切田 勇 | ○山城 祐尊 | ○原茂 幾造 | ○田村 勝子 |
| ○笹本俊一郎 | ○佐々木義子 | ○柏木 武 | (敬称略) |

が借地であるが、買収に応じていただけなのが実情である。今後は緑のマスタープランにより、できるだけ用地は買収していきたい。

地域の特性を生かし

商業圏の拡大めざす

質問 西口再開発は、福生駅周辺再開発現況等調査報告書が出され、地元でも先進地の視察



決算審査

パイプ

決算制度は予算制度がある以上必要な制度です。これがなければ予算制度の適切な運営は望めません。なぜならば、決算は当該年度の予算執行結果を表わすとともに、次年度以降の予算執行の指針となるものだからです。

決算書は出納責任者である収入役によって調製され、市長に報告されます。市長はその決算書に監査委員の意見を付け、議会の認定を求めて提案します。

決算は議会の認定がなければ確定しません。しかし、認定されなくても効力そのものには影響はありません。ただ、市長に政治的責任が残るだけです。

決算審査は、予算の執行結果を審査するという「結果の認定」だけにはとどまらず、その結果における問題点などを出し、次年度以降の予算編成に役立たせるといふ大きな役割も担っています。

をするなど当事者に詳しい説明がなされている。

広大かつ大事業でもあり、おおよそ、どの程度の費用と年月がかかり、市の負担はどのくらいになるのか。

市長 現在、現況等調査報告書により研究会がもたれている段階である。大事業でもあるため、相当長い年月もかかり、権利者の方の合意も必要と考へ、理解を得られるよう努力している。また商店街については、隣接市町に大型店の進出もあり、購買力も厳しくなってきたり、

が、立地条件を生かし、関係者の方々と検討しながら、地域の特殊性を生かした商業圏の拡大

を図っていききたい。
建設部長 概算ではあるが、最低二百億円かかる。そのうち都道以外の道路、駐車場、駅前

無限の太陽熱

設備費に市の助成を

質問 八〇年代は省エネ対策が課題である。強いられる節約よりも自然の太陽熱を利用することのほうがよいのではないかと考へるが、設備をするとなると大変である。

現在、五つの県下と都内台東区その他、二十六市の中でも何らかの助成措置をしている。省エ

広場等の公共施設の事業費、調査設計等の一般補助を合わせて約二十億円の市の負担が予想される。

ネ対策の一環として、当市でも助成措置がとれないか。

市長 市もできるだけ努力し市民の皆さんにも省エネ対策について協力をしていただけるようPRしていきたい。

助成措置については、財政的な問題もあり、他市の例などを調査研究したい。

超過負担の解消

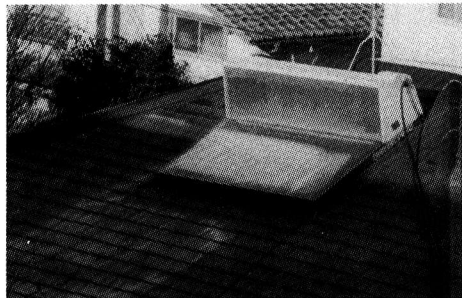
安易に望めず

質問 昨年、財政問題の質問に対し「財源の増額については交付税率の引上げ、また超過負担の解消について国に強く要望していく」との回答であったが、その効果見通しについて伺いたい。なお昨年概算で約二億円近い超過負担があるといわれたが、一年経過した現在では幾らか。超過負担の軽減等内部努力によって、義務教育の補助、

修学旅行等課外授業の補助もできると思われるがこれらに対する考へ方も聞きたい。

市長 昭和五十年度に全国市長会等関係六団体の組織で地方自治確立対策協議会が結成され、実態調査、問題の所在等明らかにし、政府に完全解消措置を要請した。

昭和五十一年度以降単価差の是正、補助対象の拡大、面積基準の改定等一部の改善をみたが、実態からして金額的にもきわめて不十分であり、今後も関係団体と一体となり積極的に運動を続けていきたい。一年経過



暮らしに生かそう
太陽熱

後の超過負担の調べには時間を要するが参考までに国民年金事務費の五十三、五十四年度の負担率は五十三年度が四八・八％、五十四年度が四六・七％となっており幾分解消されているように思われる。

なお小中学校の修学旅行父母負担軽減については、一部ではあるが五十六年度から予算措置したいと考へている。

公共用地の先行取得

先には高金利負担

質問 土地取得事業による土地開発公社の負債をますます増加していく高い金利負担をどのように処理していくのか。

公共用地の先行取得は賛成できるが財政事情との絡みを考へ、この先行取得した土地を処分し高い金利負担を軽減していく考へがあるかどうか。また自主財源の少ない財政力からみて年々増加すると思われる借入金その他の市債を抱えながら、第八小学校の建設費はどのくらいかかり、財源はどのように考へているのか伺いたい。

市長 財政問題、また市債等については大変ご心配をかけているが、積立金、基金等もあることでそれらを活用したいと考へ

ている。いずれにしても大きな問題については考え方を早い時期にまとめ、議員の皆さんとも相談し、考えていきたい。

先行取得した土地、たとえばアサノポール跡地等については広場、運動公園等に使いたいと思

っている。
教育長 仮称第八小学校につ

いては、当初計画した児童数の増加が少なく、今後その増加等を見て建設したいと思ってい

財源確保にはどのように対応していくのか。また供用開始後三年たっているくみ取り有料化の問題についても伺いたい。

る。なお有料化については水洗化の促進の問題もあり、使用料値上げの問題と同時に先進市町において共通する問題でもあるので内容を精査し、早急に検討したいと思っている。

下水道事業の財源に

料金値上げも検討

質問 都の財政報告でも下水道事業は、独立採算制を原則とした事業であるとされている。当市の場合当初計画の昭和六十

年より二年早く完成の予定と聞いているが、工事完成まで一般会計からの繰入金はどのくらいになるのか。繰出金のあり方、

市長 下水道は市民生活上欠かせない都市施設であり、その普及にあたっては多額の資金を要する事業でもある。ご指摘の点を十分配慮し進めていきたい。財源確保にあたっては使用料の値上げもあるが、今後十分研究していきたい。

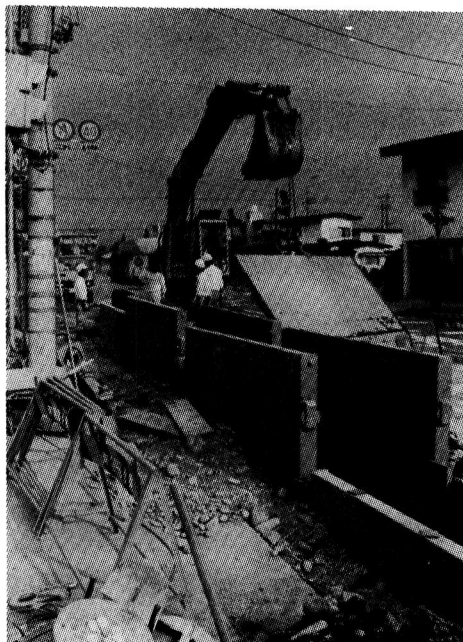
建設部長 昭和四十九年から五十四年までの繰入金は十一億五千七百万円になる。また今後使用料を据え置いたままの計算でみると、四十九年から六十年までの繰入金は百二十六億七千二百万円前後になると思われ

議会を傍聴

しましょう

次の定例会は

3月に開かれます



快適な市民生活をめざして……

物品購入契約は

最低価格業者と締結

質問 契約は、自治法、市の財務規則により行われていると思われるが、物品購入契約の業者の選定、指名から契約までの経過を説明願いたい。

総務部長 物品購入契約の経路は、まず物品購入何を担当課から徴し契約係に提出させる。それが終わった後に業者の選定をしているが、五万円以下については規定により担当課でするようになっている。

また工事契約について工期を何日過ぎたものに工期延長願いをさせているのか、六月から十一月まで何件あったか伺いたい。なお最近熊川地域で市道の

業者の選定の場合金額的に工夫されており三十万円以下の場合には三社、三十万円を超える場合は四社から六社指名し、三百

議会日誌

10月

1日 建設委員会行政視察、大阪府岸和田市議会視察

2日 新潟県新井市議会視察

11日 来市 青梅・羽村・福生地区

13日 都市下水道組合議会

15日 西多摩農業共済事務組合議会

16日 東京都市収益事業組合議会

16日 来市 広島県竹原市議会視察

20日 市議会だより編集会議

21日 総務委員会行政視察、青梅・羽村・福生地区

22日 都市下水道組合議会

11月 厚生委員会行政視察

5日 三多摩上下水第二委員会

6日 会 東京都市議会議長会

8日 総務委員会

10日 横田基地対策特別委員会

13日 会行政視察

14日 厚生委員会、三多摩上下水第二委員会

三多摩廃棄物広域処分組合議会



いにしへの奈良の都の・・・

質問 小・中学校の修学旅行は、教育の一環でもあり、子供達もたいへん楽しみにしている。市長は父母負担軽減のため一部補助を考えたのと発言しているが、どの程度の助成を考えているのか。

教育長 教育費について当市は、二十六市の中でも多額の父母負担の軽減措置をしている。修学旅行の経費は出しても、他の教育費については、ほとんど助成していない市町も多い。財政面から十分検討したい。

思い出の修学旅行 父母の負担はまだ重い

万円を超える場合は指名委員会にかけ業者の選定をしている。選定後は業者から見積書を徴し、その最低価格業者と契約を結んでいる。

工期の延長については規定はなく、不可抗力ないし正当な理由があった場合に認めている。

五十四年が二十九件、五十五年が今のところ十件である。

建設部長 熊川駅周辺の工事は市道の舗装工事が遅れ、近所の方々に大変迷惑をかけたことをおわびしたい。今後このようなことがないように十分指導監督していきたい。

新しい選挙管理 委員決まる

行政委員会の一つに選挙管理委員会という選挙事務を管理する組織があります。

12月24日に現在の委員（4人）と補充員（4人）の任期（4年）が満了となるため、23日の本会議で委員を決める選挙が行われました。

次の方々が、新しい委員と補充員に決まりました。

- ＝委員＝
- ◎吉岡喜代造
 - ◎板寺 昌一
 - ◎天野 悦年
 - ◎中森 信行
 - ◎寺田 音市
 - ◎森田 新平
 - ◎大谷 光利
 - ◎平原 治作
- (敬称略)

中学校の給食

開始には否定的

質問 中学校の給食は、請願が議会で採択されてから五年も経過している。中学校給食問題研究会でも、十分検討されたよ

うに思われるが、その後の方向づけについて聞きたい。

教育長 中学校給食問題研究会は四月に解散しているが、教育委員会では、この研究会が行ったアンケート調査等を参考に慎重に検討、分析しているところである。また先生と生徒の対応等、問題も多い。

見通し立ため

第八小学校の建設

質問 仮称第八小学校は、昭和五十六年四月開校の予定であったが、児童数の伸び悩み等で建設が延ばされている。学区内の父母達の関心は強く、いつ頃開校できるのか伺いたい。

また、建設までの間、買収した用地の使い方について、どのように考えているのか。

教育長 学級数のほか、今後予想される種々の問題も検討しているところであり、建設、開校の見通しはたっていない。買収した用地の利用については、未買収の部分もあり、公園との関連も考え合わせ、開発公社と十分検討したい。

12月	27日	26日	20日	19日
3日	議会運営委員会	全国基地協議会	全国基地協議会	建設委員会、東京都大島町議会視察来市、青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会
6日	福生伝染病院組合議会	狭山火葬場組合議会、三多摩上下水第三委員会	全国基地協議会	
8日	建設委員会協議会、議会運営委員会			
9日	第四回定例会（第一日目）、総務委員会協議会、全員協議会			
10日	第四回定例会（第二日目）			
11日	昭和五十四年度福生市一般会計決算審査特別委員会			
15日	厚生委員会			
16日	建設委員会			
17日	総務委員会			
18日	横田基地対策特別委員会			
19日	議会運営委員会			
22日	西多摩衛生組合議会			
23日	第四回定例会（第三日目）、全員協議会			
24日	全国基地協議会陳情			
25日	全国基地協議会陳情			
28日	全国基地協議会陳情			

制度資金融資限度額

引き上げを検討

質問 経営基盤の弱い中小零細企業の生活安定のための中小企業振興資金融資制度は昭和五十一年三月に改正されたものであり、毎年一〇％前後の物価上昇を考え合わせ、融資の限度額を増額すべきではないか。

また申込人、保証人資格の緩和について考え方を伺いたい。

市長 今日の社会情勢から限度額については多少引き上げる必要があると思っている。

また融資資格の緩和についてはむずかしい問題もあり、金融機関、商工会とも協議したい。

職員の資質向上

市民サービスの第一歩

質問 職員は市民の公僕として、積極的に職責を果たす職員であってほしいと思うが、市長の指導方針、人事並びに給与のあり方について基本的な考え方を伺いたい。

また財政については硬直化が予想される。将来への見通しと対応策及び特別会計を含めた総

合決算方式について伺いたい。

市長 公務員は全体の奉仕者として公共の福祉増進のため常に民主性、能率性を発揮しなければならぬ。できる限り研修の機会を与え、資質の向上を図り、市民の要望に応えられるよう努力していきたい。

人事については、職員の特殊性を生かすよう適材適所に心が

銀輪公害の歯止めに

条例と駐輪場を

質問 最近銀輪公害といわれ駅前への放置自転車は、年々深刻

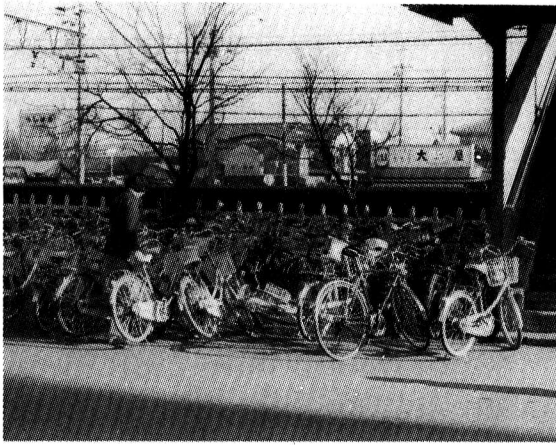
けたい。また給与については、国や都の給与体系を考慮し、各市との均衡を失わないよう実施していきたい。

財政見通しについては、国の抑制策もあり厳しい状況ではあるが、全般的に十分配慮しながらやっていきたい。なお総合決算方式は現状では困難であると

さを増している。市内の五つの駅もその例にもれない。これらの対策をどう考えているのか。

市長 当市の状況は福生駅東口が最も多く、牛浜、西武拜島駅前がこれに続いていて、用地の確保ができれば駐輪場を設置し、同時に条例も設けたいと思

ここに置いていいかな？



なお先般制度化された自転車駐車場法等も研究し検討していきたい。

歩道の整備

安全確保に努力

質問 市道の舗装率は九四％といわれ、道路整備においては二十六市の中でも上位にランクされると思われるが、歩道の区分帯のない市道が数多くある。歩行者の安全を守るための歩道設置についての考え方及び市民に親しまれるような幹線道路の愛称表示についても伺いたい。

また生活道路でもある私道の補助条件について改正する考えがあるかどうか。なお、街路樹

の管理についても聞きたい。

市長 歩道の整備については車道が六メートル以上確保できる道路を中心に整備している。それ以下の道路については有効幅員が狭くなると危険が伴う等の問題もある。

市道の呼称は、ご指摘のとおり愛称をつけた方が親しみやすいと思われる。

私道に対する補助基準は四メートル以上が対象となっており、まだ相当数残っている。

なお、街路樹の管理は樹木のせんでい、除草等を行っているが、今後美観を損わぬよう十分留意していきたい。

のか聞きたい。

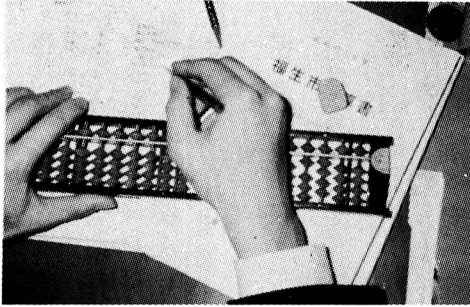
市長 避難収容の場所として市内の公共施設二十箇所を指定しているが、学校関係については管理上防犯上の問題でむずかしいと思っている。緊急避難時における開放は何時でもできるようにして、避難誘導にあたりたいと思っている。

なお河川敷の整備については建設省と協議を重ねながら進めているが、加美周辺の河川敷については、緑地計画やサイクリング道路の計画もあり、これらの計画と一環して検討していきたい。

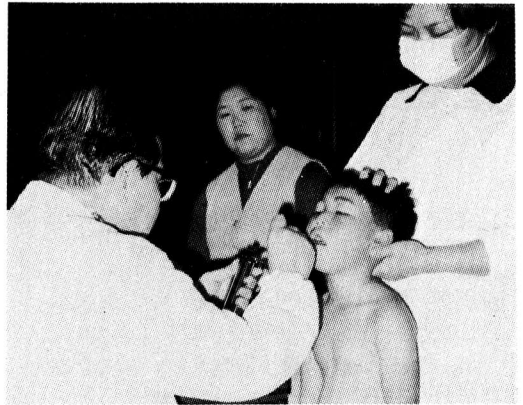
加美の河川敷に

緑地とサイクリング道路

質問 世界の各地で発生している直下型地震は、日本で、特に関東平野で発生する確率が学説では高いとされている。市の避難場所に指定されている学校等公共施設のプロック塀は入口が少なくまた危険でもある。生垣にした方がよいと思うがどうか。また河川敷の広域避難場所について、その後建設省との話し合いはどのようになっている



「はい、大きく口を開けて」
そろばんは
じいて財源の確保



就学健診の会場 学校施設で

質問 就学時健康診断は、前年度と同じように学校施設以外で実施すると聞いているが、学校施設を使わないということでは不安であるという父母もいる。本年度の実施状況について聞きたい。

また 身体の一部あるいは心身に障害を持った子供の場合は、就学相談していると聞かすが、現状についても伺いたい。
教育次長 本年度の就学時健

康診断は、十一月に市民会館のほか三会場、昨年と同様身長、体重等五項目により実施し、九百八名が受診した。学校施設の使用については学校側の協力を得ながら、是非、五十七年度からは話し合いのうえ、学校で実施したいと思っている。

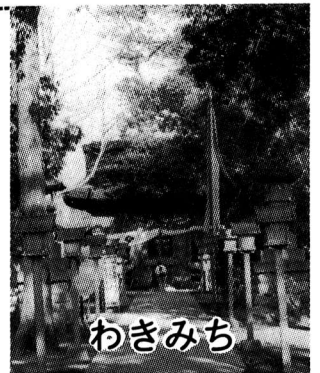
就学相談については八名の方が相談にきており、そのうち普通学級へ一名、身障者学級へ三名の進級が決定しており、あとの四名の方は都及び市の教育相談を継続中である。

福祉の後退はない

56年度予算編成方針

質問 来年度の予算編成が進められているが、今度の予算編成は市長の初めの当初予算編成であり関心を持っている。
特に 国や都の補助金削減が当然予測される中での予算編成であるが、市民の生活擁護を貫きとおした福祉の

充実した予算編成をしてみたい。市長の予算編成に対する方針を聞きたい。
市長 当市の場合国や都に財源を依存している度合いが強く、新年度の予算編成にあたっては国や都の補助金等がどれだけ得られるかが重要な問題でもある。国や都においても厳しい財政状態であり、予算編成にあたっては、以上に経常経費の節減や内部努力を図るとともに、自主財源の確保に努め財源を最大限に生かしていきたい。福祉関係については五十四、五



わきみち

に現存する古い建物の一つだそうです。
熊川神社の旧名は、「礼拝の宮」、または「礼拝明神社」といい、熊川村を支配する私領主をはじめ、牛浜、鍋ヶ谷戸上・下、内出、南、

鳥居をくぐり、掃き清められた参道を進むと、正面にけやきに囲まれた社殿が見えてきます。この神社は、拜殿、幣殿、本殿の三棟からなり、本殿の屋上には切妻形銅板葺の屋根を冠しています。
現在の地にいつ頃から建てられたか詳しいことはわからないようですが、古い記録によると室町時代の初期に、与次衛門、次郎衛門、七郎左衛門といった人々が中心となり造られたといわれており、市内

武蔵野各部落の鎮守様として敬われ、恒例の季節の祭りはもちろん、村をあげての雨乞の儀式などもこの境内で行われたと語り伝えられています。
またこの神社には、棟札と呼ばれる建築の年月日などを記した札や、村の歴史や昔の人々の生活の様子などを勉強するために必要な貴重な資料も保存されているとのこと

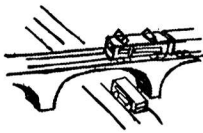
十五年度と同じようにやっていきたいと思っている。

またこの神社には、棟札と呼ばれる建築の年月日などを記した札や、村の歴史や昔の人々の生活の様子などを勉強するために必要な貴重な資料も保存されているとのこと

障害者の職員採用 趣旨は十分理解

質問 五十六年度の新規採用者数と職員組合からの人員要求との関係、また雇用促進法に基

市長 新規採用については欠員補充にとどめ、十四名程度採用したいと思っている。また障害者の雇用対策については法の趣旨は十分理解できるが、施設の改善等むずかしい問題も多く、今後の研究課題としていき



第4回定例会において
鉄道の立体交差化は首都
交通対策の一環である
として意見書を可決し、
国や都へ送付しました。

鉄道の連続立体交差化に伴う地元 費用負担解消に関する意見書

東京都三多摩地域の人口はすでに317万人に達し、この地域における大量輸送機関としての国鉄中央線、青梅線、五日市線の役割は大きく、首都の活動を支える重要性がますます強められている。

同時に、これらの鉄道は、三多摩地域において平面交差などにより、激増する輸送需要に対応できない現状に置かれているだけでなく、交通公害の大きな要因ともなっている。

これらの問題を抜本的に改善するためには、中央線三鷹・立川間立体化複々線計画の早期実現とともに、青梅線の輸送力増強のための施設の改善整備が強く求められている。

しかし、これら交通機関体系の整備は、東京都が首都であるという特殊性からみて、国レベルの首都交通対策の一つとして解決していかなければならない問題であり、市町村に過大な負担を求めて行う事業とは認め難いものである。

よって、国がこれらの事情を十分考慮され、地元市町村の費用負担解消のための制度改正を早急に措置するとともに、これら事業費を国・国鉄・東京都において全額負担するよう強く要請する。

○陳情第一号 国鉄運賃値上げ
反対、総合交通政策の確立に關
する陳情書
八王子市旭町一―
石野 昇氏 他一人
―昭55・3・10提出―
○陳情第二号 登録民間日雇労働者の
雇用促進に関する陳情書
立川市砂川町四三―三五

継 続

せいがん
ちんじょう

○請願第三号 健康保険制度の一部「改正」をやめ、国民負担の軽減と制度改善要求に関する
請願書
福生二二二七
岩本寅次氏 他五人
―昭55・9・11提出―

取り下げ

○陳情第六号 地域防災コミュニケーションセンターの設置に関する
陳情書
牛浜一四二
下田良吉氏 他九人
―昭54・12・20提出―
○請願第四号 老人医療制度の後退反対、現行制度の改善要求
に関する請願書
福生二二二七
岩本寅次氏 他五人
―昭55・9・11提出―

前年より二千機減る 横田基地への離着陸

質問 この春沖繩に配属されたF15の關係から横田基地の発着がふえている。九月から十一月までの離着陸の回数について伺いたい。

また市長は、市内上空飛行について日米合同委員会に申入れ

をしていきたいと言っているが、合同委員会から誰に報告しているか。また委員会の内容についても聞きたい。

市長 離着陸の回数は九月一千六十四機、十月一千二百八十三機、十一月一千四百八十一機である。昨年の同期に比べて全体で一千七百五十九機の減となっている。また日米合同委員会の基地関係には航空機対策分科委員会があり、その中に横田基地司令官は、住民の理解を深め

たい。
総務部長 応募者百五十名中内定をみている者が十四名であり、今回も欠員補充ということであり、組合の方でも不満足ながら了解している。人員増について

いは当面増員しないという考え方でいきたい。
なお促進法による採用については施設の面また適応した勤務等の面から今後検討したいと考えている。

地司令官は、住民の理解を深め地方公共団体の代表と密接な連絡をとること等の申し合わせがある。私どもは横田基地司令官に申入れをし、さらに防衛施設庁への申入れもし、そこから日米合同委員会の方へ提示してもらうことにしている。

企画財政部長 昭和三十九年四月に横田飛行場の騒音軽減に関する報告が承認されており、その中でエンジンテストを含めた騒音規制あるいは夜間飛行、飛行高度等の問題で合意がなされている。騒音問題については引続き検討を加えるということにもなっており、横田基地司令官、防衛庁の方へ報告に基づいた申入れをしている。

廃棄物処分組合議員

小林議員に決まる

三多摩地域の二十五市二町でゴミ問題に取り組もうとする「三多摩地域廃棄物広域処分組合」について、東京都知事は十一月一日に組合の設立許可を与えました。これにより組合は、正式に一部事務組合として動きだすことになりました。
この組合の議會議員に次の議員が選ばれました。
・小林菊三(熊川一〇八六)

丸山鉄蔵氏

―昭55・3・25提出―

○陳情第四号 行政区域変更に関する陳情書

秋川市草花五の五

堀 辰雄氏

―昭55・6・20提出―

○陳情第六号 失業対策事業の改善と公的就労事業に関する陳情書

熊川八三〇

西村秀吉氏

―昭55・9・11提出―